

誕生!!多機能コテージ in 道の駅ほうじょう~防災&省エネ~

快適空間に泊まって自然を満喫しませんか！

とっとり健康省エネ住宅（NE-ST）の宿泊体験ができる！

大規模災害時は災害対応施設に（移動もできるモバイル建築）！



モバイル建築でとっとり健康省エネ住宅NE-STを体感

NE-ST

- 北栄町と（一社）日本オフサイト建築協会は、災害時の仮設住宅供給と仮設住宅に転用できるユニットの社会的備蓄に関する協定・地方創生並びに地域防災力の向上に関する包括連携協定を令和6年8月に締結。
- 防災の道の駅として整備した「道の駅ほうじょう」北エリアにある北条オートキャンプ場にモバイル建築によるNE-ST性能（TG-2）を確保したコテージを整備し、令和8年7月18日(土)オープン



NE-STの体感機会の創出

NE-ST

- 多くの人にNE-STの優れた性能を伝えるには体感してもらうことが最も効果的。
- 建築事業者は施主に宿泊してもらうことでNE-STの魅力を伝えやすくなる。
- 数値ではわからなかった性能の必要性が一般の方に理解され、NE-STの認知度が向上することで新築だけでなく賃貸や改修にも広がっていくことができる。

健康によく、電気の使用も少なくなる鳥取生まれの高断熱・高气密住宅は、地球温暖化対策にも役立ちます



内装・外壁・ウッドデッキは県産材使用

とっとり健康省エネ住宅の普及促進

- 国の省エネ基準を上回る県独自の高断熱・高気密な家“とっとり健康省エネ住宅”『NE-ST』に、最大200万円を助成(『NE-ST』の普及率は約6割まで上昇 ※R7年度上半期)

区分	国の省エネ基準	ZEH (ゼッチ)	とっとり健康省エネ住宅『NE-ST』		
			T-G1	T-G2	T-G3
基準の説明	2025年義務化基準	2030年義務化基準	冷暖房費を抑える 必須レベル	経済的で快適な 推奨レベル	優れた快適性の 最高レベル
断熱性能(U _A 値)	0.87	0.60	0.48	0.34	0.23
気密性能(C値)	—	—	1.0	1.0	1.0
冷暖房費削減率	0%	約10%削減	約30%削減	約50%削減	約70%削減
最大補助額	—	—	160万円	180万円	200万円
世界の省エネ基準との比較					

NE-STのメリット	①光熱費の削減	冷暖房費の削減により断熱工事費は15年で回収可能
	②ヒートショックの予防	家の中の温度差がなくなり、ヒートショックを予防
	③健康改善	結露を防止し、カビやダニの発生抑制により喘息やアトピー等が改善

- 2030年までに新築住宅において『NE-ST』を標準化するには、一般の方にNE-STの優れた快適性を体感してもらうことが重要。
- 北栄町が日本オフサイト建築協会、県と連携して、北条オートキャンプ場にNE-ST宿泊体験施設をコテージとして設置。
 →新築を検討されている方をはじめ、多くの方に宿泊いただくことで『NE-ST』の魅力を発信し、普及をさらに加速。



NE-STなコテージ(TG-2)

令和8年度当初予算(鳥取県)

NE-STのモデルハウス等を新築・改修する事業者に助成 [補助上限]200万円 (補助率1/3)